

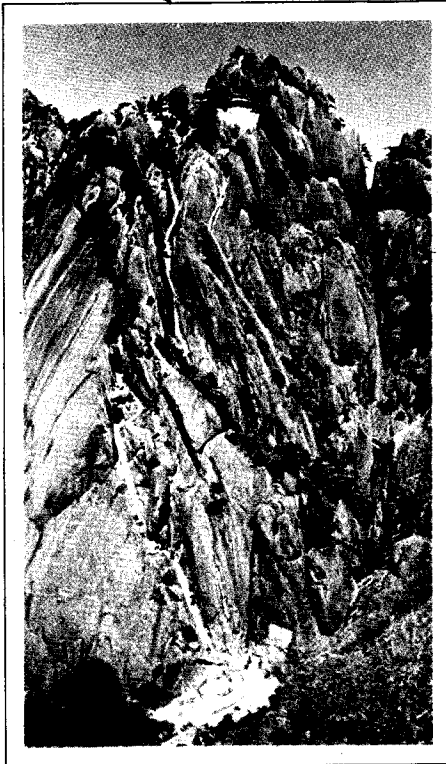
黄山



北京·外文出版社·1983



黄 山 の 位 置 図



黄山は、中国安徽省南部（北緯30.1度、東経118.1度）に位し、歙、黟、太平、休寧の四県に跨り、周囲50キロメートル。

黄山に行くには、北京発の列車で杭州に直行し、バスに乗りかえるか、または上海から飛行機あるいはバスでむかう。

送温處士歸黄山白鵝峰舊居

唐 李 白

黄山四千仞，
三十二蓮峰。
丹崖夾石柱，
菡萏金芙蓉。
伊昔昇絕頂，
下窺天目松。
仙人煉玉處，
羽化留餘蹤。
亦聞溫伯雪，
獨往今相逢。
採秀辭五岳，
攀巖歷萬重。
歸休白鵝嶺，
渴飲丹沙井。
鳳吹我來時，
雲車爾當整。
去去陵陽東，
行行芳桂叢。
迴溪十六度，
碧嶂盡晴空。
他日還相訪，
乘橋躡彩虹。

大意 黄山はどっしりと高くそびえ立ち、三十二の蓮峰（現在は三十六峰）はひらいた蓮の花びらのようである。その中には、断崖にはさまれた石柱峰、蓮の蕾のような蓮花峰、芙蓉の花のような芙蓉峰などがある。黄山の最高峰にのぼると浙江省の天目山の松の木さえ眼下に見おろせるほどだ。その昔、仙人が仙丹を煉ったという煉丹峰では、黄帝が仙丹を服し、仙人になって立ち去ったと伝えられている。また春秋時代の高雅の士、温伯雪もここにいたときく。わたしは独りやって来て、折よく今日あなたにあった。わたしたちは険しい崖や山をよじのぼり、薬草を採ったりしたが、いま、あなたは白鵝峰に帰り、泉水を飲んで余生を送ろうとしている。わたしがここにくる時、簫の音が聞こえたけれど、帰る時は雲の車を用意してもらいたい。わたしは陵陽山を訪ね、かぐわしい木犀の林で遊び、さらに、曲りくねった谷川を賞し、切り立つみどりの山上に立って、紺碧の大空を眺めよう。他日、ふたたび訪ずれた時には七色の虹のような天橋をわたって、あなたのそばに行きたいものである。

まえがき

黄山は、山野の自然の風貌と雄大で奇怪な風景によって内外にその名を知られ、安徽省長江以南の山間地帯に威容をはこっている。

四億年前、このあたりは白浪荒れ狂う大海原であり、三葉虫と筆石類の下等動物だけが水中を泳ぎまわっていた。のちに、海中の地殻の熔岩がかたまって花崗岩を形成し、「地下の黄山」を形づくった。一億年前になると、中国大陸にはたびたび地殻変動が生じたため、地下の黄山が地表を突き破

り、海水を払いのけてこの世に現われたのである。のちに、侵蝕、風化などの外力の作用と第四期氷河に見舞われたため、直立あるいは直立に近い柱状の岩体がいろいろな形に刻まれ、最後に、群峰天をつき、煙雲万丈の黄山となったのである。

黄山は、古くからの風光明媚な景勝地である。秦の時代には黟山と呼ばれ、唐の天宝六年（西暦747年）に黄山と改められた。黄山はたしかに珍しい山と言える。

その154平方キロメートルにわたる景勝地には、特に有名な山峰だけでも72、そのうち三大主峰の平均高度は海拔1800メートル以上で、一年中雲や霧につつまれて、天候の変化がはげしい。黄山の「三大奇観」と言われる奇松、怪石、雲海は、黄山の風光の特長を代表している。奇松があるので黄山は神秘的であり、怪石があるので黄山は奇異に思え、雲海があるので黄山は変化にとんでいるのである。「天下の名泉」とたたえ

られる黄山の温泉もまた一つの絶景である。

黄山の四季は絵のようで、山光水色、その美しさは筆舌につくしがたい。季節のうつり変わり、晴曇の変化、太陽や月の輝き、彩雲の流れにつれて、山中の景色は刻刻と変わり、黄山はふるい姿をとどめることなく、永遠に新しい趣きを創造している。黄山は国内外の観光客の遊楽の地であり、文学者や芸術家の憧れの地でもある。



迎客松



千姿万態の黄山松

黄山の松は、海拔 800 メートルないし 1700 メートル以上の寒冷地帯に成長し、中国の松樹の中でも優良な品種である。だが、黄山松の生活環境はきわめてきびしく、根には寸土もなく、ただ固い花崗岩の割れ目に根を下している。生存するために、根部はたえず酸液を分泌して、つぎつぎと岩壁を浸蝕し、岩体の深い割れ目から水源を求め、少量の窒素、磷、カリウムを吸収している。したがって、根部はかなり長く、往々にして樹幹の数倍に達し、風に吹かれても倒れることはない。

黄山松の天然による造型は驚異に値する。だが、この造型も生活環境と切り離すことはできない。黄山は峰々が重なり、断崖絶壁が切り立っているため、黄山松はほとんど直立に伸びることができず、地勢にしたがってさまざまな姿態に成長している。横に臥しているもの、斜めに伸びているもの、上をむくもの、



朝日をうけて

下をむくもの、曲りくねっているもの、崖にぶらさがっているものなど、千姿万態である。また、黄山松の多くは平たい樹冠を頂き、その葉は扇状をなして、強風の力を減少するように形成されている。また、片側が日向に面し、もう一方は寒い崖に近い^{かざぐち}、風口に面しているため、多くの松が一方に傾いており、その反対側には枝が一つも出ていない。

これも黄山松の特長の一つである。

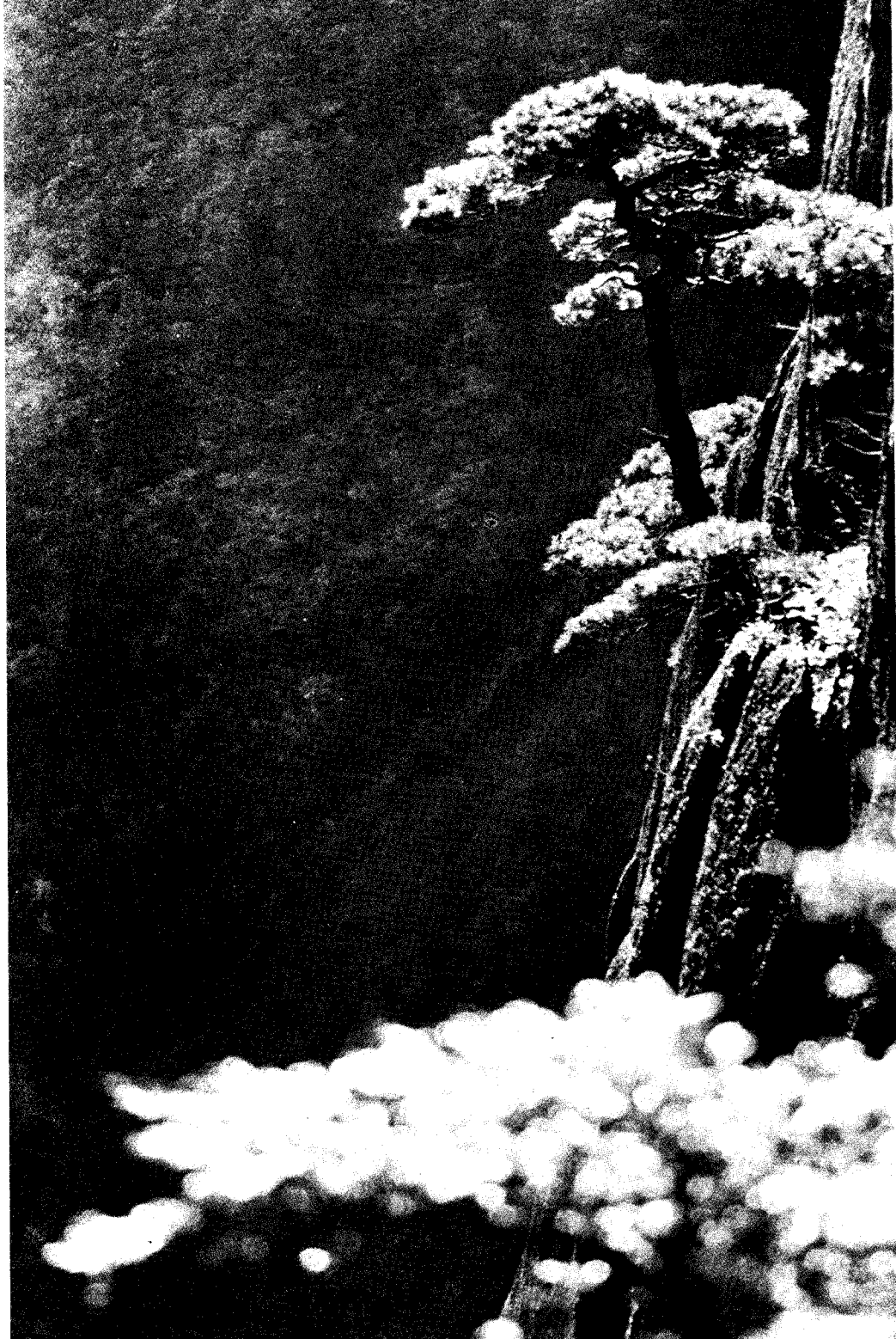
黄山の有名な松はかなり多いが、もっとも著名なのが十あって、「十大名松」と呼ばれている。迎客松、送客松、探海松、蒲团松、鳳凰松、棋盤松、接引松、麒麟松、黒虎松および臥竜松で、そのうちの迎客松は中国人民と世界各国人民との友好のシンボルと見なされている。



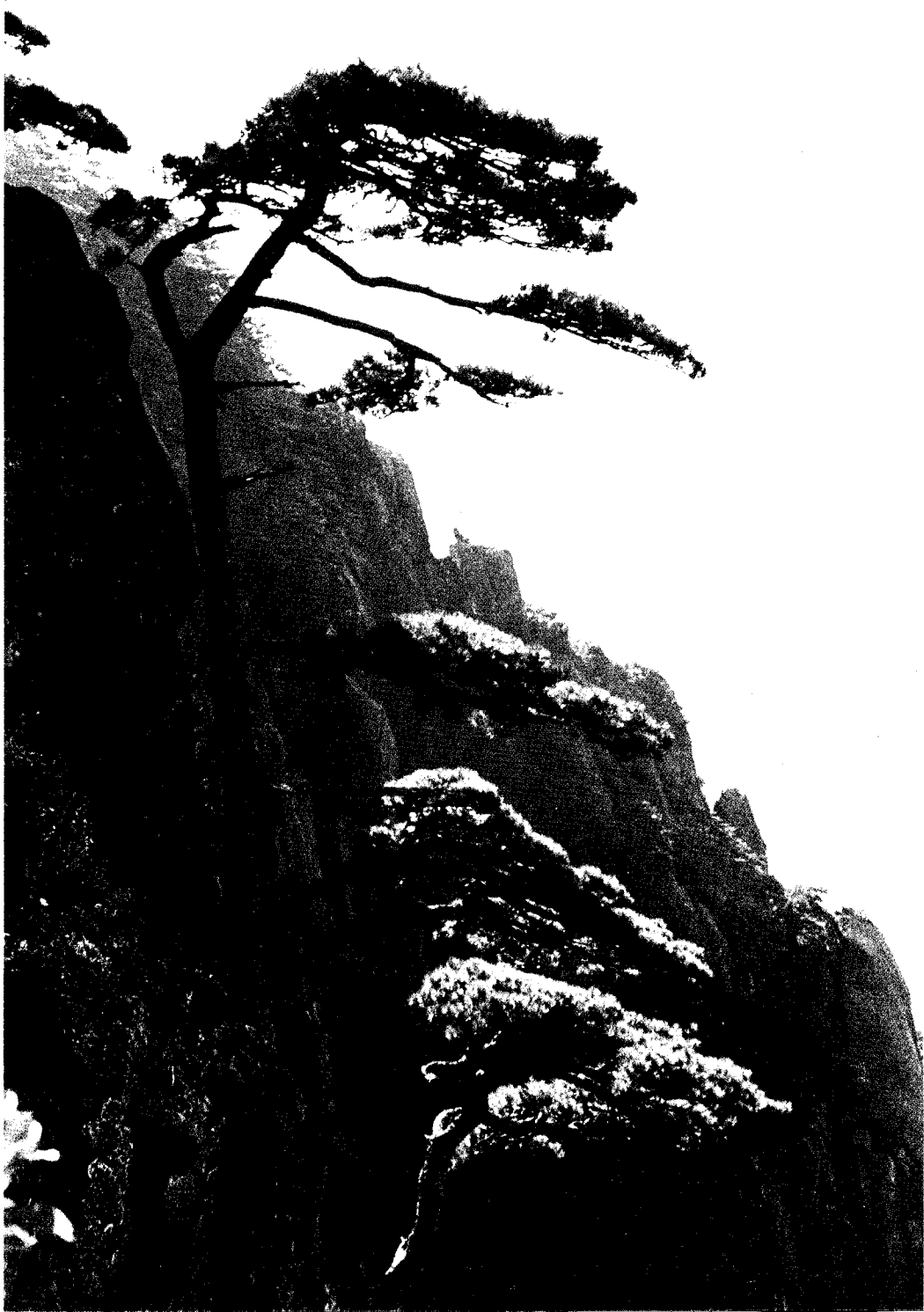
伴客松

玉屏楼前
の老松





蓬萊三島絶壁の奇松



天都峰南壁の松



天都峰頂の青松



臥竜松

種子飛び 林となる

黄山の断崖絶壁に、思いがけなく珍しい形の松がすっと突き立っていることがある。崖壁では、人がよじ登って植えることはできないし、鬼神も手のほどこしようがあるまい。実を言うと、それは種子が自ら飛んでいって根をおろしたのである。黄山松の松かさにはいっぱい種子がつき、どの種子の尾部にも薄

い膜があり、風が吹くと、種子を包んだ膜が風に乗って舞い飛ぶ。種子は落ちた場所の小石のすき間などに入り、崖壁上の適度の湿度によって、根を生やし発芽する。「石無くして松なし、松無くして奇なし」という黄山の景色は、このように「種子飛び林となる」ことによって作られたのである。

岩石をつき破って……





双竜松

玉屏峰東壁の老松

